平成23年11月1日発行/通巻779号

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報
京都府中小企業団体中央会

newsline 2011/11

中小企業トップセミナーを開催 1
特　集　2011年版　中小企業白書のポイントNo3 2～3
再発見！連携のチカラ　No.53　静岡市ホテル旅館協同組合（静岡県） 4
11月は「労働保険適用促進強化月間」です 4
京のほんまもん　No23　京のパン 5
11月11日～17日は税を考える週間です 5
中央会News　平成23年度 第1回委員会を開催 6
平成23年度 レディース中央会全国フォーラム in 大阪に参加 6
第3回ビジネスフェアin京たなべのご案内 6
『働く人のメンタルヘルスセミナー』開催のお知らせ 7
京都経済お天気 8
平成23年タイ洪水被害に関する相談窓口 8

中小企業トップセミナーを開催

「企業価値を高めるCSRの取り組み推進に向けて」をテーマに、10月20日京都ホテルオークラにおいて「平成23年　中小企業トップセミナー」を開催、組合代表者をはじめ傘下組合員企業の代表者など100余名が参加した。

本事業は、本会が昨年度策定した「中央会　新中期ビジョン」に盛り込んだ「中小企業へのCSR導入促進」の実践版として開催した。

基調講演：株式会社半兵衛麩
代表取締役会長　玉置 辰次氏

基調講演では、株式会社半兵衛麩　代表取締役会長　玉置辰次氏を講師に、「“しにせ”の生き方　ー事業継承とCSRー」と題し、同社の経営方針や代々受け継がれてきた教えなどについて分かりやすく語られた。「自分や相手方だけでなく社会全体が利することを教えた『三方良し』の精神」や「商売とは、モノを売って儲けることではなく、人様のお役に立った対価としてお金を受け取ることで、金儲け（私利）を目的にすることへの戒め」とともに「事業継続のための信用・信頼や人材育成の重要性」など、氏の経営に対する理念や経験・実践について述べられた。

続くアドバイスでは、本会も参画している京都CSR推進協議会の明致親吾会長を講師に迎え、「中小企業のCSR（企業の社会的信頼）の進め方」について拝聴した。企業の様々な関係先（ステークホルダー）を社会と捉え、その社会の期待に応えることや、社会に対して信頼を築く経営の実践を中小企業のCSRの概念とし、本業を通じ目標や活動結果をオープンにして取り組むことにより、企業価値の向上と企業の成長・持続につながることが説明された。

最後に本会　鞍掛専務理事より、中小企業のCSRの導入促進を実施する組合等への支援施策の説明を行い、本事業を閉会した。

京都CSR推進協議会　明致親吾会長

特　集　2011年版中小企業白書のポイント No. 3

抜粋　第3部 第1章　経済成長を実現する中小企業

東日本大震災の影響により、多くの中小企業が倒産、廃業を余儀なくされ、エネルギー制約、国内需要の収縮、グローバル競争の激化等の震災前からの課題がより深刻化することとなりました。足下の復興が喫緊の課題であることは言うまでもありませんが、我が国経済が成長していくためには、起業、転業により経済の新陳代謝を促進し、中小企業が労働生産性を向上させ、国外からの事業機会を取り込んでいくことが重要です。

ここでは、起業、転業、国外からの事業機会の取り込みについて、2011年版中小企業白書の第3部第1章の「経済成長を実現する中小企業」から事例を抜粋してご紹介致します。

女性起業家の育児体験を活かした子育て雑貨商品の企画販売を行う企業

沖縄県那覇市の沖縄子育て良品株式会社（従業員3名、資本金500万円）は、2004年に起業された子育て雑貨商品の企画や販売を行う企業である。

同社の山本香社長は、前職の沖縄物産を扱う企業で、伝統的な工芸品や織物等の商品開発や店舗の立ち上げに携わる一方で、趣味で自らの育児体験から得たアイディアを基に商品の開発を行っていたが、2004年に独立し、安心・安全に配慮した子育て雑貨商品や、沖縄の地域資源を用いた製品の企画販売を始めた。特に、（財）沖縄県産業振興公社の平成21年度OKINAWA型産業応援ファンド事業に採択された「子どもが口にしても安心な生活雑貨の開発プラン」では、沖縄県産木のリュウキュウマツやハンノキを用いた弁当箱等の日用雑貨品等の開発を行い、「安心、安全、良質、ナチュラル」なこだわり製品を生産している。

安全・安心にこだわり
リュウキュウマツを用いた弁当箱

「身の丈にあった事業を展開してきた」と語る山本社長であるが、書籍等を参考に自ら起業の手続を行い、2010年2月には、商社等との取引を増やすべく法人成りも果たしている。2010年10月には、沖縄の素材を活かした母子に優しい化粧品・雑貨・食品の開発と販路開拓事業が経済産業省の地域産業資源活用事業計画に認定され、更なる発展が期待される。

質の高い人材の育成に成功し、高付加価値デニム生地を製造する企業

岡山県井原市の日本綿布株式会社（従業員60名、資本金2,000万円）は、ジーンズ製造の工程を一社で完結する一貫生産体制を構築している。

同社の川井眞治社長は、約20年前に（株）日本貿易振興機構主催のヨーロッパ視察に参加した際、イタリアのトスカーナ地方の衰退を目の当たりにし、最後には一貫生産に対応できる企業のみが生き残れるとの思いを強くした。それ以来、全ての工程を自社に取り込みノウハウを蓄積することを目的とし、1997年に防縮加工設備新設により「整理加工（防縮加工）」までの一貫生産を、2004年には設備新設による最終過程である「洗い加工」までの一貫生産体制を着々と整備してきた。この一貫生産によるノウハウの蓄積が、安価な外国製品に負けない高付加価値素材の開発・提供へつながった。同社の品質へのこだわりは世界に知れ渡っており、主に付加価値の高いプレミアムジーンズと呼ばれる1本3万円もする高級ジーンズに採用されている。また、ラルフローレン、ポール・スミス、ヤコブコーエン等の有名ブランドから指名の引き合いがある。

同社が開発したグラデーションデニム・ファイバーの生地を用いたジーンズ

川井社長は、「品質を支えるのは、従業員の一人一人の職人としてのプライドである。」と考えており、事務所内には勤続30年以上の社員の写真を飾ることにしている。同社では、独特の肌触りを生み出すために旧式のシャトル織機を使ってデニム生地を織っているが、こうした機器の操作法を含め、職人の技を身につけるには約20年の長い時間と経験が必要であり、同社の工場では、60歳のベテラン職人が18歳の新人に技術を伝承する光景がよく見られる。こうして蓄積された技術と人材を活かして、同社は、世界初のグラデーションデニム・ファイバーによる高付加価値デニム生地の開発に成功した。これは1本の糸を3層に染め分けることにより、色相の多層構造を構成するもので、現在のところ同社のみが生産可能である。川井社長は、「中小企業は、大量生産の安物では生き残れない。高品質の本物、こだわりで差別化し、顧客価値の高いマーケットだけを狙っていく。」と語る。

既存製品を活かして環境分野に進出し、愛知万博への出展等により販路開拓に成功している企業

陶磁器産地として有名な滋賀県甲賀市信楽町にある近江化学陶器株式会社(従業員50名、資本金9,500万円）は、1874年に起業された老舗企業である。同社は、陶磁器製の建築物の外装及び床用のタイル等を主に生産しているが、建設業界の先行きの不透明感から、環境問題への社会的関心の高まりに伴う緑化対策に着目し、既存の陶磁器製タイルを活かした壁面緑化事業に新分野進出を果たしている。

愛知万博に出展した巨大緑化壁「バイオラング」

同社は、起業以来、時代の要請に応じる形で、陶磁器技術を核に蚕糸鍋製造、外装タイル製造と事業転換を行ってきたが、成長しつつある環境分野に着目して、関連会社を中心として建物の緑化事業に着手し、多孔質セラミックと陶磁器質を組み合わせた陶板とスナゴケを用いた植栽断熱発砲陶器「GIF-T」の開発に成功した。陶板部分は、長年培ってきた技術を活かして、外装タイル部分は陶磁器質で仕上げ、スナゴケを植える部分には多孔質セラミックを用いて両者を一体焼成する工夫を凝らした。また、タイルに植える植物を探し求めた結果、砂や石の基板で育ち、乾燥にも強いスナゴケに着目した。同社には、コケに関する専門人材はいなかったが、社員が学会に参加したり、また、大学の研究者を訪問したりすることで粘り強く情報を収集し、スナゴケを壁面緑化に用いることに成功している。

歴史を遡ると、同社の蚕糸鍋は、1900年のパリ万博に出展され、外装用タイルは、1970年の大阪万博で「太陽の塔」に用いられている。同社のGIF-T は、2005年の愛知万博で、巨大緑化壁「バイオラング」へ出展されたが、それを契機に注目を浴び、全国各地への販路の拡大に成功している。

高い技術力により高付加価値な糸を開発し、国際的な地位を確立した企業

山形県寒河江市の佐藤繊維株式会社（従業員130名、資本金5,410万円）は、各種ニット製品・紡績糸・ファッション製品の製造・販売を行う企業である。

同社の開発した従来よりも細いモヘア糸「フウガ 1/44」

同社は、原材料となる糸の紡績とその糸を用いた最終製品の製造を両方手掛けることが可能であることを強みとしている。高付加価値な製品を作る必要性を感じ、1998年から他社では形状や品質等をまねできない独自の糸の研究開発に取り組むようになった。

同社の熟練した職人の高い技術を結集して、研究開発を重ねた結果、一本の糸で太さや色が変化する糸や従来よりもかなり細いモヘア糸等の様々な付加価値の高い糸の開発に成功した。それを契機に、2001年に独自の糸を用いた自社アパレルブランドをアメリカの展示会で発表し、2007年にはイタリアでの展示会に工業用ニット糸を出展することで、各種ブランドメーカーとの取引を開始するようになった。

最近では、2009年1月のアメリカ大統領就任式や2009年12月のノーベル平和賞授賞式の席でオバマアメリカ大統領夫人が同社のモヘア糸を使用したカーディガンを着用するなど、特殊な糸の分野における国際的な地位を確立している。

外国企業との連携により技術及びノウハウを習得し業種転換、技術転換に成功した企業

大阪府東大阪市の株式会社COMFORT LAB（従業員8名、資本金1,000万円）は、フットケア製品やサポーターベルト等の健康関連製品の製造・販売を行う企業である。

アメリカの企業と共同で開発した成果により完成した靴の中敷き

同社は、当初の事業である溶接ガス関連製品の製造・販売の先行きが明るくないと考え、健康用の靴の中敷きをアメリカから輸入し販売を開始したところ、数か月で類似製品が出回るようになり、単純な輸入販売に限界を感じるようになった。そこで、アメリカの企業から健康用品の製造に関する技術を学ぼうと考え、アメリカの企業の靴の中敷きのOEM 生産を開始し、健康用品に関する技術・ノウハウを積極的に蓄積するようになった。

この取組を嚆矢として、オーストラリア、ニュージーランド、フランスの企業とも積極的に連携し、様々な健康用品に関する技術・ノウハウの蓄積を進めるとともに、自社で国外の技術に改良を加え、独自の商品開発を行うようになった。また、ある程度の販売量が見込めるようになると、中国や台湾に業務提携先を求めて、国外で、現地の協力の下で製造拠点を設立し、製造・販売するようになった。このように、同社は、経営の国際化を段階的に進めた結果、現在では売上高の約3分の1を国外が占めるようになった。

同社の椋本満社長は、「国外では、やる気と事業計画をきちんと示せば、大企業であっても取引を開始してくれる。零細企業は、国内で取引先を探すのみならず、国外の大手企業と取引をすることで、不足する経営資源を補えるのではないか。」と言う。

再発見！ 連携のチカラ No.53

共同事業等に先進的に取り組んでいる組合事例をご紹介するこのコーナー。今回は、産学連携による“おもてなし”の体制づくりで新たな需要の掘り起こしに取り組んでいる組合の事例です。

産学官連携で新たな宿泊需要の掘り起こしを

静岡市ホテル旅館協同組合（静岡県静岡市）

地元の大学や短大との連携により、外国人宿泊客の受け入れ体制の整備や高校生を中心とするスポーツ競技者向けの食事メニューを開発。産学官を挙げて“おもてなし”の体制づくりを進める。

背景と目的

本格的なグローバル化時代を迎え、全国各地の観光地で地域間競争が熾烈化する中、観光は地域振興やまちおこしの重要なツールとして大きな注目を集めている。こうした中、静岡市とその周辺地域では富士山静岡空港開港により、当地域を訪れる外国人の増加が見込まれるなど、地域全体として観光客・宿泊客を受け入れる“おもてなし”の体制づくりが急務となっている。

事業・活動の内容

事業の内容としては、『①グローバル化への対応』として、外国人宿泊客とのコミュニケーション向上を図るため、組合員やその従業員の語学力向上を目指し、地元大学の留学生を講師にした語学（中国語・韓国語）研修を開催した。基本的なあいさつから、ホテルや旅館の様々な場面で接客に役立つ実務的な会話まで7段階に分け実施した。また、一度に多数の外国人宿泊客が訪れる場合等に、留学生を通訳として派遣してもらうなどの協力も得ている。さらに、韓国語、中国語、英語で宿泊の予約や食事、支払いのやりとりや旅先での日常会話などをイラストとともに記したコミュニケーションボードを行政とタイアップし作成。組合員に配布し海外宿泊客との円滑なコミュニケーションに役立てている。

また、『②スポーツ大会開催による競技者の受入』として、現在、組合では高校生を中心に全国から年間1万人を超えるサッカーや軟式野球、水泳などの競技選手を受け入れているが、さらなる競技者宿泊客の獲得を目指し、地元短大の食物栄養学科と連携している。スポーツ栄養学の観点からのメニューづくりを心がけるとともに、特殊な調理器具がなくても作れる利便性や静岡の旬の食材をふんだんに使用することにも配慮した新メニュー開発に成功した。

スポーツ競技者を対象とした新メニューの試食会

留学生を講師に、ことばだけでなく、生活習慣や国民性にまで広く学んだ語学研修

成　果

事業成果としては、『①グローバル化への対応』では、地元大学との連携により実施した語学講座の開催、留学生通訳の派遣やコミュニケーションボードの作成などを通じ、外国人旅行客とのコミュニケーション不足を補完することが可能となり、外国人客の受け入れ態勢の確立につながっている。

また、『②スポーツ大会開催による競技者の受入』においては、開発された新メニューは、今後、さらなる競技大会の受入れや宿泊需要の掘り起こしの強力なツール、新たな“ウリ”となることが期待できる。

今後は、農商工連携なども視野に入れ、さらに幅広い連携を通じ、地域色を前面に出した仕掛けを打つことで新規宿泊客とともに、リピーターの獲得にも力を注いでいく。

【組合DATA】
静岡市ホテル旅館協同組合
〒420-0852　静岡県静岡市葵区紺屋町4-10
☎ 054-253-1165　　FAX 054-251-5863
URL http://www.shr.or.jp

事業主のみなさまへ

労働保険の成立手続きはおすみですか

～11月は「労働保険適用促進強化期間」です～

労働保険とは、労災保険と雇用保険の２つを併せた保険のことを言います。

お問い合せ
京都労働局　総務部　労働保険徴収課
☎ 075－241－3213
又は最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所まで
＜京都労働局ホームページ＞
http://kyoto-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/

●労働保険は、労働災害や失業等が発生した際に、保険給付等を行うことにより労働者の福祉の増進を図る制度です。労働保険は政府が管理、運営している強制保険です。原則として、労働者を一人でも雇っていれば労働保険の適用事業所となり、事業主は成立手続きを行わなければなりません。

京の本物ほんまもん No.23

京のパン（きょうのぱん）

世界に誇る歴史都市「京都」。その中で、磨き育まれた「京の伝統工芸」や「京の食品」をご紹介するこのコーナー。今回は、和食のイメージが強い京都ですが、意外にも消費量が多い『京のパン』をご紹介します。

パンは1543年に種子島に漂着したポルトガル船により、鉄砲とともに日本に伝わったとされていますが、鎖国とともにしばらく日本から姿を消すことになり、再び出てきたのは明治時代であり、西洋文化が浸透したことでパン文化が根付いたと言われています。

昭和８年（1933）に京都で初めて「京都パン組合」が設立され、昭和18年（1943）政府指令により「パン統制組合」と改組し、戦後の昭和22年（1947）に「京都府パン商工協同組合」と再び改組しました。翌昭和23年（1948）には、配給パンの製パンは食糧公団の指定工場制となり、この問題をめぐって両者間に物議をかもす一幕もありましたが、昭和24年（1949）には学校給食にパンが採用され、パン業界も活気横溢、また、麦の統廃による製パン企業の自主権回復による門戸開放で、多くのパン業者が相次いで登場しました。組合としてもまたこの時代に対処して、昭和31年（1956）従来京都市内にあった５組合を統合一本化して、現在の「京都パン協同組合」を設立しました。昭和36年（1961）には京都市において、第２回全回パン業者大会と機械展示会が開催され、全国から概ね2000名の同業関係者が参集し、昭和41年（1966）には懸案の「京都府パン工業組合」が結成され、今日の発展に至ります。

現在では、食育や京のブランド化にも力を入れており、社団法人京都府食品産業協会の事業にも参画し、親子体験教室の開催やブランド商品の認定を受けたりして、京都のパンのすばらしさを広く消費者の方に知っていただこうと活動しております。

親子食育体験教室

京ブランド認定商品

《山本　隆英理事長よりひとこと》

組合では、組合員の技術力の底上げを目的に、全国の有名なパン職人の方を講師に招くなど各種講習会を実施するとともに、消費者向けのイベントとして親子食育体験教室を実施しています。講習会には組合員以外の方にも参加を呼びかけていることから、これを機に組合に加入される方も増えています。また、社団法人京都府食品産業協会で実施している食の安心・安全対策事業や京ブランド食品の開発等に積極的に取り組み、個々の組合員の技術力アップにつなげています。

京都では、1世帯あたりのパンの消費量が多く、パンの消費量は全国1位となっていましたが、昨年度は兵庫県が1位となりました。再びパン消費量1位を目指し、美味しいパンを消費者の方々のできるだけ近くで食べていただけるよう事業に取り組んでいます。

【組合DATA】
京都府パン工業組合・京都パン協同組合
〒601-8045　京都市南区東九条西明田町49番地
（株）木下商店内
☎ 075-672-2380　　FAX 075-672-2390
URL http://www.40net.co.jp/~kyoto-pan/index.html

11月11日から17日は
税を考える週間

今年のテーマは、「税の役割と税務署の仕事!!」

主な活動

イータ君

- ○「税を考える週間」特集ページの開設
  （国税庁ホームページ www.nta.go.jp）
- ○講演会、説明会等の開催
- ○国税モニター座談会の開催
- ○税に関する作文の表彰　　など

税務署

中央会NEWS

平成23年度第1回委員会を開催

去る10月5日（水）・6日（木）・7日（金）・11日（火）、京都府中小企業会館において、本年度1回目となる労働委員会、環境、総合政策・組織の合同委員会、流通、観光の合同委員会及び金融、税制の合同委員会を開催した。

同委員会では、平成22年度に策定した本会中期ビジョンにおける事業企画力や政策提言力強化のための専門委員会及び部会・分科会の機能強化について、京都府・京都市への要望等について協議が行われた。

各委員会では、委員会の再編成をはじめとする機能強化、直面している課題への柔軟な対応を求める意見が出され、今後、総合政策・組織委員会において専門委員会のあり方等について協議が行われる。

平成23年度 レディース中央会全国フォーラム in 大阪に参加

去る10月20日（木）、ホテルニューオータニ大阪（大阪府）において、女性経営者等の資質向上と組合女性部の組織強化を図ることを目的に、全国中央会・大阪府中央会の主催によるレディース中央会全国フォーラムが開催された。同フォーラムには、全国から約340名、本会からも、伊庭節子理事（京都府中小企業女性中央会 会長）をはじめ13名が参加、「～つながろう日本!!～ 女性の力で中小企業の活性化を!」をテーマに、経済の先行き不安感を感じさせない女性のパワーが大阪に参集した。

第1部では、株式会社青木松風庵 代表取締役の青木啓一氏より、「おいしいお菓子をつくりたい」と題した事例講演が行われた。青木氏は、“お客様を大切にすること”“おいしいお菓子を創ること”“仲間とその家族を大切にすること”“地域社会に貢献すること”を経営理念とする同社の取り組みを紹介され、一期一会のおもてなしを大切にし、これからも仲間と力を合わせておいしいお菓子をつくりたいと述べられた。

第2部では、千房株式会社 代表取締役の中井政嗣氏より、「できるやんか!人間って欠けているから伸びるんや」と題した基調講演が行われた。中井氏は、お好み焼き屋「千房」創業の経緯、比べず・焦らず・諦めず・共に育つ“共育”の従業員教育について紹介され、体験・経験から学ぶことは多く、目標を持ち努力することで結果が出ると述べられた。また、学歴・身元を問わない従業員の採用について、過去は変えられないが、自分で未来を変えることはできるので、チャンスを与えたい。努力は決して嘘をつかないと述べられた。

第2部終了後開催された交流パーティーでは、地域や業種を越えた活発な情報交換や新たなネットワークづくりが進められ、今後の中小企業・組合・組合女性部の発展につなげていくこととなった。

『第3回ビジネスフェアin京たなべ』のご案内

入場無料
事前申込不要

世界有数のシェアを誇る大企業から最先端の技術を有するベンチャー企業まで京田辺市を中心に元気な企業が集結する「ビジネスフェアin京たなべ」では、機械、ＩＴ、食品、化学、環境など様々な分野から約70社の企業が出展し、一押しの新製品、他ではまね出来ない匠の技術がご覧いただけます。

がんこフードサービス会長の小嶋淳司氏による特別基調講演のほか、中小企業向け海外展開セミナー、京都力結集エコ住宅「京エコハウス」見学会、スポーツカー展示、学研都市シーズ紹介など魅力的なプログラムが盛りだくさん。皆様のご来場をお待ちしております。

また、今回から、京都山城の名産品を集めた「日本茶・食の祭典」を開催。会場にてアンケートにお答えいただいた先着1,000名様に来場記念品をプレゼントします！

■開催日：平成23年11月16日（水）10：00～16：00
■会　場：同志社大学 京田辺校地 多々羅キャンパス
（近鉄京都線「新田辺駅」・JR学研都市線「京田辺駅」よりシャトルバス運行／駐車場あり）

【詳しくは下記ＨＰをご覧下さい】
http://www.kyotanabe.jp/0000003232.html
ビジネスフェアin京たなべ事務局（京田辺市商工会内）☎ 0774-62-0093　FAX 0774-62-3926

『働く人のメンタルヘルスセミナー』開催のお知らせ

大丈夫ですか？あなたの会社のメンタルヘルスケア！

近年の社会情勢不安、労働環境の変化等により、労働者のメンタルヘルス不調者が増加する中、経営の安定や生産性を維持するとともに、労働者の健康保持や精神疾患予防の観点から、企業内でのメンタルヘルス対策が急務となっております。
こうした状況を踏まえ、このたび中小企業の経営者・人事労務担当の方やメンタルヘルス情報が十分に伝わっていなかった方を対象に企業でのメンタルヘルス対策をテーマとしたすぐに役立つ無料セミナーを府内2ヶ所で開催致します。是非、ご参加下さいませ。

★ **2010年度、精神疾患による労災申請が最多に。会社のメンタルヘルスケアがさらに重要視されると思われます。**
精神疾患の発症の原因については、嫌がらせ、上司とのトラブル、ハラスメントなど「対人関係のトラブル」が増加傾向にあるという結果が出ています。このようなデータから、上司と部下、同僚同士などの社内のコミュニケーションの重要性があらためて認識できます。
そこで本セミナーでは、会社のメンタルヘルス対策や社内コミュニケーションの基本に関する内容を盛り込んでおります。

【セミナー内容】

■ メンタルヘルス対策の必要性と基礎知識　■ 管理監督者によるメンタルヘルスケア　■ コミュニケーションの基本 etc

	北部会場
日　時	12月5日(月)　13:30 ～ 16:30
会　場	中丹勤労者福祉会館(福知山市)　大会議室
申込期限	11月28日(月)
申込方法	申込書によりFAX又は郵送でお申込下さい。 申込書 URL<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/whatsnew/mennheru20111021.pdf>
申込先	〒615-0042 京都市右京区西大路五条下ル 中小企業会館4階 京都府中小企業団体中央会内 京都府中小企業労務改善集団連合会 FAX 075-314-7130 (TEL 075-314-7134)

※『中小企業管理・監督者セミナー』と合同で実施致します。是非併せてご参加下さい。

≪今後の予定≫ 2012年2月には南部会場(宇治市)でも開催を予定しております。

主催：京都府・京都府中小企業労務改善集団連合会　協力：株式会社パソナ

新型定期預金

マイハーベスト

人を思う。未来を思う。

商工中金

有利な金利設定
通常の債券・定期預金（固定金利）より高めの金利（当金庫内比較）をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。

固定金利の半年複利
着実に、そして効率よく資産を増やせます。

1年、2年、3年から期間が選べる
将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

●お預け入れは、50万円以上1円単位です。
●お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
●詳しくは店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

商工中金　京都支店
〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1
TEL 075-361-1120
http://www.shokochukin.co.jp/

人を思う。未来を思う。
商工中金

京都経済お天気

中小企業団体情報連絡員9月分報告より

■厳しい経営環境に先行き不安感増す

	業界景況天気図	概　　況
全　体	8月 →9月	一部の業界において回復が見られるものの、円高・消費の低迷・価格競争など中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい。各業界・企業において打開策を見出す取り組みが行われているが、先行き不安感は増しており、迅速かつ有効な景気対策・支援が求められている。
製造業 8月 ↓ 9月	繊維・同製品	和装、洋装業界ともに好転の兆しが全く見えていない。国民文化祭に絡めて各所できものにかかるイベントが満載であるが、その華やかさとはうらはらに市場は寂しい限りである。
	出版・印刷	前月の低迷状況より、多少ではあるが仕事量が増加傾向にある。
	鉄鋼・金属	全体的には、東日本大震災の影響はほとんどなくなり、震災前に戻っている。ただし、今後の見通しは決して良好とは言えず、先行き不安を感じている企業が多い。
	一般機械等	一部業態に復興需要が反映し始めているが、大規模設備投資は依然低調な状況にある。円高により大企業のグローバル化が加速しており、生産・調達の海外シフトが強化され始め、下請型中小製造業は経営の抜本的な見直しに差し迫られている。
	その他製造業	プラスチック製品製造業界では、東日本大震災直後の落ち込みからの回復傾向は、円高の影響がコストダウンの圧力を伴い回復の足かせとなってきつつあり、更には空洞化の加速化の危機意識を募らせている。
非製造業 8月 ↓ 9月	卸　売	化学製品卸売業界では、再度、リーマンショック当時まで悪化していると思われる。繊維・衣服等卸売業界では、東日本大震災以降、和装については廃業が例年よりも多く、体力のない先については依然厳しい状況が継続している。
	小　売	写真機・写真用品小売業界では、大手量販店の「送料無料」の企画が大きく、どのような商品（100円程度のもの)でも通販で送料無料になってしまうため、物販面では非常に厳しい状況である。家電小売業界では、7月24日の地デジ化以降、売上金額は全体及び商品ごとでも大きく落ち込んだ。
	商 店 街	9月は2つの台風の襲来で人通りは少なく、消費も冷えていた。10月以降本格的な観光シーズンに入るが、天候の状況により紅葉のタイミングが人出の大きな要因になると思われる。
	サービス	旅館業界では、東日本大震災後、落ち込んでいた国内のお客様は伸びて例年に近づき、修学旅行も順調である。一方、海外からのお客様は国によりバラツキがあるものの、依然低調である。
	建　設	夏に比べて仕事の数は出てきているが、条件は良くない。仕事はあっても好況感はなく、本当の回復につながりそうか様子見のままである。
	運輸・倉庫	運送業界では、荷動きについては、好転した様子はない。燃料価格については、値下げされ今後も下がると思われるが、円高の影響による値下げはないものと思われる。倉庫業界では、保管貨物の全体の動きは、入庫、出庫とも前年に比べ減少が続いている。

快晴	晴れ	くもり	小雨	雨
DI値 40以上	20～40未満	20未満～△20未満	△20～△40未満	△40以上

「平成23年タイ洪水被害に関する相談窓口」の設置について

タイにおいて大規模な洪水が発生し、多くの日系企業が被災している状況に鑑み、その関連（国内）中小企業者を対象として、経済産業省等では、相談窓口を設置しています。

本会におきましても特別相談窓口を設置し、経営・金融相談に応じています。

【特別相談窓口】

京都府中小企業団体中央会
本　　部　☎ 075-314-7131
北部事務所　☎ 0773-76-0759
開 設 日 時：8時45分～17時15分
（土曜、日曜、祝日を除く）

【現地での特別相談窓口】

日本貿易振興機構（JETRO）バンコク事務所において、「洪水相談窓口」を設置し、被災した現地の日系企業からの経営・金融相談に応じています。

表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷工業組合が京にゆかりのある名前を付した12色を創作したうちの「高雄もみじ色」です。

ながい――い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、
積み立てる、備える、管理する…
京都銀行は、人生のさまざまなシーンで
皆様を応援します。
お気軽にご相談ください。

飾らない銀行
京都銀行
http://www.kyotobank.co.jp/

月刊中小企業連携組織活性化情報　協同
11/2011　平成23年11月1日発行　通巻779号
●編集・発行●
京都府中小企業団体中央会
京都市右京区西院東中水町17（西大路五条下ル）　京都府中小企業会館4階
☎ 075-314-7131　FAX 075-314-7130
URL http://www.chuokai-kyoto.or.jp　E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp